

# 平成28年度校内研究推進計画

## 研究テーマ

教えてもらう学びから、自ら求め探っていく学びへの転換  
～教え込む授業から、気づかせ、支援する授業の創造～

### 1. 目的

研究を通じて、指導者が教え込む学習から、生徒自身が主体的に学ぶ姿勢や意欲を向上させる授業作りへの変換し、共通理解を深める。そのために、

ア. 予習してから授業に臨めるように、予習動画や予習プリントを準備する。

イ. 生徒が予習内容を発表したり、テーマについて考えるアクティブラーニングを推進する。

ウ. 授業内で、生徒自身が考えたり、教え合う場面を授業内で設定する。(予習内容とリンクすることも意識しながら)

エ. 授業内で効果的に ICT を活用し、生徒の学習意欲や表現力向上に生かす。

### 2. 方法

・教科の特性に応じた4つの教科推進部で、教科の連携を図りながら、各学年での取り組みも加えて全教科および学校全体で上記の目的に沿った授業作りを研究する。

・上記ア～エに関する教科の枠を超えた研究部を作り、それぞれで考えたことを、全体に提案していく。(予習動画の作成や予習プリントの作成、アクティブラーニングを中心とした授業作りなど)

・研究会を組織し、実践豊富な研究者等を招聘し、研修会を開いたり、推進先進校等の視察を行う。

・校内研究会(年間3回、各学期に1回)を行い、研究の成果と課題を全体で把握し、各自の指導方法に反映させる。

・2学期の校内研究会は、研究発表会として、校外にも参観、指導を求めて、その後の方向性について研究、協議する。

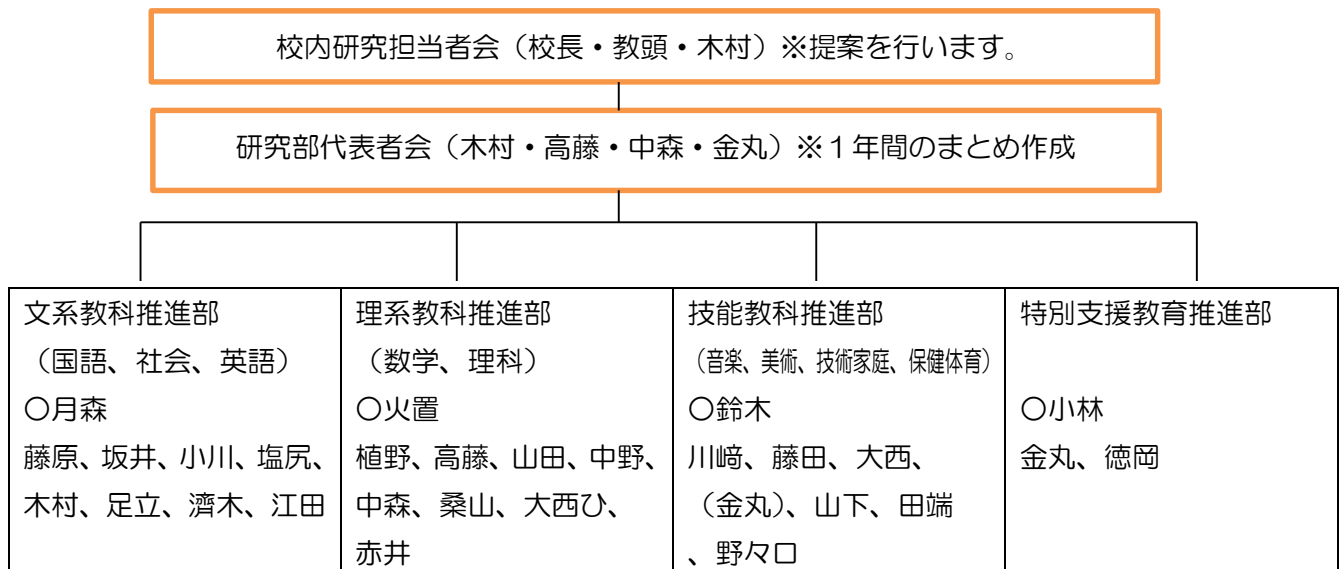
・全職員年間1度は、研究テーマを設定し、必ず研究授業を行う。

・できる限り、空いている時間に授業参観し、各自の授業向上に生かす。

・各自、各部会の取り組みをまとめ、研究冊子等を作成する。

### 3. 組織

・職員を以下の通りに組織する。



各教科部会

国語部会	月森 坂井、藤原
社会部会	小川 塩尻
数学部会	中森 植野 火置 中野 高藤 山田
理科部会	大西ひ 桑山 赤井
英語部会	木村 足立 濟木 江田
技能系教科部会	鈴木 川崎 山下 大西せ 田端 野々口（金丸）
特別支援教育部会	小林 金丸 徳岡

各研究部会

予習教材作成研究部 ○高藤 火置、足立、山下、月森、 小林、小川、赤井	アクティブラーニング授業研究部 ○中森 桑山、藤田、川崎、大西せ、 鈴木、塩尻、濟木	ICT 活用授業研究部 ○金丸 坂井、藤原、大西ひ、植野、 中野あ、田端、木村
--	---	--

4. 研修、研究日程

4月25日（月）	職員会議提案→市教委への報告等
5月11日（水）	3つの研究部会（それぞれの部会のテーマに沿って、今年度活用していく方向性の確認、提示） 4つの教科推進部で、第1回研究授業者の選出（特別教育推進部は要検討）
5月19日（木）	教科部会（教科での今年度の取り組み内容の検討） ↓ 各推進部会で、教科で決めた内容の報告 推進部の方向性の確認と提示  ※それぞれの部会や推進部で決定したことは、フォルダにまとめてください。 2016年研究推進フォルダ
6月8日（水）	第1回研究会 各推進部より1教科 後に事後研修  各授業で反転動画の活用、アクティブラーニングを生かした授業作りをする
8月23日（火）	3つの研究部会（2学期の方向性について検討） 各推進部で2学期、3学期の研究授業担当者の決定  9月、10月のできる限り研究授業を行い、11月の発表会へ自己研修をする

10月18日（火）	3つの研究部会（11月の発表会へ向けて）
11月2日（水）	4つの各推進部会（11月の研究発表会に向けて）
11月15日（火）	<b>研究発表会および第2回研修会</b>
1月24日（火）	第3回校内授業研究会
2月上旬	各推進部および研究部会のまとめ
2月下旬	個人レポート作成 次年度に向けて
3月	研究部代表者会 冊子や学習コンテンツのまとめ作成

## 5. 学校全体の共通理解

- ① 学習規律10か条の遵守
- ② 学習の目当ての提示 授業内容の提示も含めて
- ③ 空き時間の授業参観 のぞみ学級の授業にも積極的に参加しよう！
- ④ 年間1人1回の公開授業
- ⑤ ICTの活用 反転授業の導入 指導案の交流
- ⑥ 板書、チョークの色の工夫
- ⑦ 評価基準表の活用、評価方法の徹底
- ⑧ アクティブラーニングを生かした授業への意見交換をしましょう！